

2006～2007年度 第2640地区 第5組 IM 報告

日時 2006年10月28日 AM 11:00 ~ PM 5:00

場所 大阪府富田林市 すばるホール

ホストクラブ 富田林南ロータリークラブ

今年度2640地区の三軒ガバナーは当クラブが所属するIM第5組の河内長野東RCであることから、早々に河内長野東RCへ表敬訪問を致し三軒ガバナーより直々にIMについてご指導を仰ぎました。

ゼネラルリーダーは亀岡パストガバナーであることを知り、その後は亀岡ゼネラルリーダーのご指導を仰ぐことになったのでありますが結果からみてもこのことが大変幸運でありました。

日本のロータリアンの数が減少している原因は種々指摘されているところではありますが、原因の一つにロータリアン自身がロータリーに魅力を感じているか否かという問題があります。クラブの活性化を論じるとき必ず指摘されることの一つに「マンネリを打破して魅力的な例会を」があります。このことをIM単位に置き換えてみますと年に一度の催しではありますが「マンネリを打破して魅力的なIMを」と考えました。

IMの一般的なスタイルとして、基調講演を聴いて知識を習得すると共に、聞くだけではミーティングにならないから各クラブの限られた極少数の人が意見を述べ、それを総括するというのがありますが、このことがマンネリでありIMの不人気の一因であるように思えます。

ロータリーは元来社会に奉仕に積極的な人々の集まりであることは普遍的な事柄であることから「聞くだけでは物足りない。私も意見を述べよう」という全員参加型（バズセッション方式）のIMを企画致しました。

例年予想される150名の全員に発言してもらうためにはどのような準備をしなければならないのか、何分当地区にあっては初めての試みであること故、試行錯誤を重ねました。

幸いなことにバズセッションに精通しておられる亀岡ゼネラルリーダーの懇切丁寧且つ適切なご指導のもと準備を致しました。

予備会議において5組の各クラブから討論リーダー（司会役）と補佐（書記役）各1名を選出して頂き、それらの方々と共に討論テーマの特定と各クラブのテーマの分担を話し合いで決定いたしました。この予備会議において各クラブにして頂かねばならないことを周知徹底できたこともバズセッションに不可避の要素でありました。

数多の討論テーマを次の4つに特定すると共に9つのグループに分けました。

クラブの活性化に関して	4グループ
地域と社会奉仕に関して	2グループ
WCSに関して	2グループ
職業倫理に関して	1グループ

これらのグループに各クラブのIM当日の参加者が偏らずに配分登録して頂くこと。

IM当日は討論リーダー（司会役）と補佐（書記役）のどちらか一人がグループで話された意見を纏めて全体会議の場で発表して頂くことなどを僅か1回の予備会議を開いただけで当日に臨みました。

結果として当初の出席予想150名（例年の人数）を大きく上回る190名（25%増）の出席を得られたこと。

午前の部（事前会議）に出席のIM5組以外の地区役員様にもバズセッションに参加してご意見を発表賜りましたこと。

各グループにおいて時間が足りないくらい積極的に種々活発な意見が発表されたこと。

続く全体会議において各グループの纏め役が大変要領よく発表されましたこと。

本会議中、中途退席者が一人もなかったこと。

後日松原RCの西浦ガバナー補佐からお褒めと慰労のメッセージを頂戴いたしましたこと。

さらに多くの方々から「今年のIMよかった」の暖かい声を掛けて頂きましたことは素直にロータリーの友情であると拝受致しますと共に、IMに出席された全員の成果であると認識いたしております。

富田林南ロータリークラブ実行委員会